

野洲市民病院整備に関する市民懇談会⑥ 概要報告

日時：令和4年7月4日（月） 午後19時～21時00分

場所：コミセンなかさと

【市長】

市民懇談会にお集まりの皆様、こんばんは。野洲市長の栢木でございます。

開会の時刻となりましたが、少しお時間をいただきまして、私からご報告とお詫びを申し上げます。

本年3月に市の幹部職員お二人が、市長である私からパワーハラスメントを受けたと訴えられていたことについて、第三者委員会であるハラスメント対策委員会が調査・審議結果をとりまとめられ、去る6月30日に報告をいただきました。このうち、私のとった言動の一部がパワーハラスメントに該当するものでございました。

この私の言動につきましては、申し入れをされた職員のお2人に対しまして、まずは心から謝罪を申し上げたところであり、市民の皆様をはじめ、多くの方々に対してご迷惑とご心配をおかけ致しましたことについて、深くお詫びを申し上げます。

今後は、このことを肝に銘じて、職員の皆さんとコミュニケーションをより一層大切に、しっかりと意思疎通を図ることでお互いの考えをより深く理解できるように、一生懸命努めてまいりたいと考えております。

今回のことにつきまして、誠に申し訳ございませんでした。

【小池】

皆さんこんばんは。

それでは野洲市民病院整備に関する市民懇談会を開催させていただきます。

私は本日司会を務めます、政策調整部次長の小池でございます。よろしく願いいたします。

本日の市民懇談会は、野洲市民病院整備に関する新たな場所と方向性について説明をさせていただきます。

その後、皆様との意見を交えていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

なお、開催にあたりまして、記録等の作成上で写真撮影と発言内容の録音などをさせていただきますのでご了承いただきますようお願いいたします。

それでは開会にあたりまして、再度、野洲市長の栢木よりご挨拶申し上げます。

【市長】

改めまして、野洲市長の栢木でございます。どうぞよろしくお願いをいたします。

本日はお忙しい中、野洲市民病院整備の市民懇談会にご参加いただきまして、誠にありがとうございます。

開会にあたりましてご挨拶を申し上げます。

皆様方には平素から野洲市のまちづくりの推進に格別のご高配を賜っておりますことに対しまして、心からお礼を申し上げます。

さて本日は、本年1月14日に熟考を表明して以降ご心配をおかけいたしておりました、野洲市民病院の新たな見定めた場所整備場所と、その実現に向けた推進方策等をお手元の資料に基づきご説明させていただきます。

その前に少しお時間をいただき、新たな方策をお示しするまでの経過と、その都度の私の判断の内容について述べさせていただきます。

これにつきましては、本日皆様にお配りいたしました資料の中に、私からのメッセージと題した紙を入れておりますので、ご参照いただき、いただきながらお聞きいただきたいと思います。このような次第のペーパーでございます。

私は令和2年10月の市長御就任において、駅前にはぎわいを創出し、税収を図る場とし、そこで新病院整備は行わないことを申し上げ、市民の皆様からの信任をいただきました。

そして駅前整備の代替案として掲げていた現地建て替えについて、就任後すぐに公的な検証を行っていただきました。その結果は、建築技術的には可能ながら、医療を運営しながら施工することは困難というものでありましたことから、やむなく断念をいたしました。そこで立ち止まることなく、三つの候補地をお示しし、令和3年5月には駅前 B ブロックで病院を整備することに優位性があると判断をいたしました。

このとき、私が B でと判断した最大の根拠は、駅前以外の場所で整備しようとした場合、病院事業債の一括償還や社会資本整備総合交付金の不交付などで財政的な負担が大きく、昨年、今頃、当時の市や病院の資金状況では対応できないとする試算結果を是と判断したことでございます。

そして、評価委員会の先生方から、埋蔵文化財の包含地であることや、市の関係計画等々の調整に時間を要することから、病院の早期整備を望む市民の願いに応えられないと進言されたことや、当時の市議会の状況を見て、B ブロックであれば市議会に託された駅前を望む民意にも添えると見込んだためでございます。

しかし、その後10月に状況が大きく動きました。市議会議員の改選により、議会の総意に変化が生まれ、本年1月5日には市議会の最大会派から、B ブロックにおける病院整備を速やかに断念し、新たな用地に整備すること等の要望書が提出されるに至りました。

また同じ頃、鋭意検討を進めていた駅前 B ブロックでの病院整備の計画の草案が上がってまいりましたが、駐車場がわずか40台で、車寄せも少なく、動線も極端な縦型となってしまう。その内容を見て、これでは市民の医療を持続的に担える病院となり得ないのではないかと憂慮するに至りました。

そして、そもそも混雑しがちで、市内各所からの車でのアクセスが困難な駅前に、全ての市民に公平に使いやすくあるべき市民病院を整備できるのか。また、野洲市全体のまち作りの起点というべき駅前南口に、本当に病院が最適な施設なのかと、改めて思い巡らせるようになりました。1月14日は別の選択肢も視野に、市長執行部として熟考すべきと判断したものでございます。

熟考当初の頃は、市民の皆様や議員のご意見、その他、野洲市内の開業医の先生を含む複数の医療関係者の方からもご提案やアドバイスをいただきながら、野洲市の将来に禍根を残さない最良の選択を目指し、Bブロックも対象に検討を熟慮しておりました。

しかし、その議会の終盤に、野洲駅前Bブロックでの病院整備事業の早期再開についての決議案が提出され、3月25日、賛成が7人という少数で図らずも否決されてしまうことが起きてしまいました。

私はこのBブロックが否決されたという事実を極めて重く受け止め、そして4月に入り、今日お示しする内容で整理するよう、地域医療政策課に指示したものでございます。

今回ご提案申し上げる新病院の整備場所は、野洲市総合体育館の温水プール跡地でございます。この場所は昨年検討した三つのうちの一つの体育館裏と近接し、一部重複する場所ではございますが、優位点はそのままに、当初で問題とされていたいくつかの大きな課題をクリアできる場所であると考えております。

そして何より本市のほぼ中央に位置し、市内各所からの車でのアクセスに優れ、市街化区域に隣接した利便性の高い場所であり、新病院の優良な整備場所であると考えております。

この提案は本市のまちづくりに関わる政策の大きな変革であり、新病院整備と駅前のにぎわい作りという二つの大きな課題を、健康を基軸としながらも事業としてはすみ分けて推進しようとするもので、市民の安心と安全を支える中核的医療の確保を確実なものとしつつ、駅前でのにぎわいと生死を生み出す可能性を広げ、希望の持てる持続可能なまちの創造を可能とするものでございます。

本日はこの新たな方策の内容をお聞きいただくことで、これまでご心配いただきご懸念いただいていたことも払拭していただけたらと思っております。

長くなりましたが、本日は本計画の実現に向け、皆様方には忌憚のないご質問やご意見を賜りたいと考えておりますので、よろしくお願い致します。

以上、お越しいただいたことへのお礼と、冒頭のご挨拶といたします。

この後の内容を担当部からご説明申し上げますので、よろしくお願い致します。

【小池】

それではここでお時間をいただきまして、事務局を紹介させていただきます。

野洲市長の栢木でございます。

【市長】

どうぞよろしくお願い致します。

【小池】

副市長の佐野でございます。

【副市長】

佐野でございます。よろしくお願いいたします。

【小池】

健康福祉部政策監の布施でございます。

【布施】

病院整備を担当してます。布施でございます。よろしくお願いいたします。

【小池】

同じく健康福祉部次長の駒井でございます。

【駒井】

駒井でございます。よろしくお願いいたします。

【小池】

政策調整部長の赤坂でございます。

【赤坂】

赤坂でございます。どうぞよろしくお願いいたします

【小池】

改めまして、私は政策調整部次長の小池でございます。

その他、地域医療政策課、企画調整課の職員が3名出席をしております。名札を着用しておりますので、1人1人の紹介は省略をさせていただきます。

それでは市民懇談会に入らせていただきます。

お手元の資料、市民病院整備の新たな方策について、地域医療政策課より説明を申し上げます。

【 以下、説明部分は省略 】

【小池】

それでは少し説明が時間をオーバーして申し訳ございません。

ここからは、皆様からご意見、ご質問をいただければと思います。順番にお伺いをいたしますので、その場で挙手をいただきましたら、係りの者がマイクをお持ちいたしますので、ご発言をお願いいたします。

限られた時間でございますので、ご質問ご意見は可能な限り今説明をさせていただいた内容から大きくそれることがないようにお願いしたいと思います。

また多くの方からご意見いただきたいと思いますので、1人一つずつ、1人1問ずつでお願いをいたします。なお発言の前にはお住まいの地域とお名前、ご協力いただければと思います。

すいません、これからご質問と協議の時間入らせていただきます。ご意見等ございますでしょうか？

【市民】

すいません、三上学区から来ました■■■■といます。冒頭の市長の方から、先日30日にハラスメント委員会から結果の報告がございましたけども、今日は初めて謝罪というのか、すぐ説明されたように私は思うんですけども。これは、まだ議会でも釈明されてないし、一般市民全体に対してもメディアに対しても、されてないですよ。その状態と、今のこの体育館の、進めるということのアンバランス、市長のお考えがあまり、これでいいのかなど。市民は心配いうのか、信頼はできるのかなあという気がするんですけども。これ鵜呑みにしてしまうと、ひどいことになるのちゃうかなという気がするんですが、その辺はどうですかね。どういうふうに対応されるのか。今、駒井さんが仰ったように、あと2回の説明会やから、また賛否とって可決するんだよという。そんなこと絶対認められませんのでね。

今まで我々がやってきた運動ちゅうのは、もう2年もやってるんで、そう簡単には、はいわかりましたとは言いきれませんが。なんでか言うと、この4月に今の地域医療政策課の方に指示して、この短い時間、1ヶ月余りでこの案を作られたというのは、これはもう本当に力作かなというふうに思いますけども。

これは市長のお考えが、体育館の裏の駐車場から、今のプール跡地に変わったというのは、文化財の問題があったというんですけども、なぜこれ去年に判らなかつたんですかね。去年はここも候補地に入ってたわけですから、体育館裏の駐車場というのは。それが急遽、4月になってからやろうと思ったら、ここ埋蔵文化財があるということで、これは駄目だということで、他ないかと言ったらプール跡地になってしまったという。この本末転倒ということだと思いますけども。

いろいろ私は反対意見としてお聞きかもわからんけれども、市民にとって一番いい病院を1日でも早くというのは我々の運動の根幹ですので。土地代がただやったらどこでもいいわと、こんな曖昧な考えでは駄目ですね。今まで2年かかって、二転三転してきたわけですから、これが果たして本当にいいのかどうか、やっぱりもっと時間をかけて評価なりしていかないと。今まで関わってこられた評価委員会の方とか守山野洲医師会の方とか、一般市民の方とか、合意形成が全くなされてない。市の幹部の方が作られた案やというのはわかりますけども、それだけでは市民は納得できない。やっぱり多くの方の合意形成があって、初めて提案していただくべきものだというふうに考えるんですけども。

他に細かいこといっぱいあるんですが、その辺まず、市長の方からお考え聞いてみたいと思いますけど。

【市長】

ご質問の内容がちょっと多岐に及んでおりますので、何を的にお話したらいいのかわからんんですけども。

ハラスメントについては、謝罪というのはことあるごとに私が出させていただいているところでは、謝罪をさせていただいております。そういうことも信頼ができないということでございますけれども、信頼をしていただくか、いただかないというのは、やはり市民の皆様にご判断いただくことでございますので。私は病院整備を1日も早く進めたいという気持ちで一生懸命やらせていただいているには変わりはないので、よろしくお願いを致します。

文化財については、従前から判っていたのではないかというお話ですけども、当然わかっておりました。しかし、文化財の保護法によって、そこには必ず建てられないということはございません。発掘調査をして何も出てこないとか、出てきても一定の事をすれば建てられ、建てられている場所は、ところはどこにもございますので。ないかあるかでいうと、発掘、文化財保護法で言われる試掘に該当してる場所は必ずせないかんということで、それから外れてるっていうことはしなくてもよいということの違いは確かにあります。ない方が早いということでございます。それは前からわかっているかわかっていないかと、当然わかっておりました。

ただ、私が就任した当時には、まだプールございました。だから、プール自体がまだある。解体するっていうことは当然聞き及んでおりましたし、解体の方向で進んでたいいうのも確かでございますけども。私が当初思っていたのは、市職員に対して一団の土地、市の保有する一団の土地のどこかということで、三つの候補地を当時、出してもらって、その三つの中で検討した中でっていうことでございます。この前の熟考の中で、検討した、検討というか熟考した中では、体育館が一番いいだろうということで、今の指示をして、すぐ調査入ってくれということで、調査に入ってもらったら、プール跡地が適当ではないか、適地ではないかというようにもらってるんで、今のこの提案をさせていただいているということでございます。

医師会等々につきましては、確かに医師会の理事会に出席させていただいた、いただきました。そこで、このプランについて説明させていただきました。そのときは大変厳しい、確かに大変厳しいご意見をいただきましたが、概ね野洲市で開業されておられる理事の先生方があまり発言されなかったもので、できましたらこの機会を、機会を、野洲で開業しておられる先生方のご意見をお聞かせくださいということで、お聞きしました。概ね早くしてくれとか、この場所でも、一定いいのではないかというような、お答えをさせていただく野洲市で開業されている理事の先生方もおられましたので。医師会の総意とはなっておりますけども、医師会の理事の先生の構成が、守山市で開業しておられる先生が10名、野洲市で開業しておられる先生が5名ということで。その構成の中でのことでございますので、なかなか総意と言えば総意かもわかりませんが。私としてみたら野洲で開業しておられる先生方には、一定、ご理解いただけてるのではないかなというふうには思っております。市民の皆さんとか、医師会の先生方、医師会との合意形成がどうかということなんですけども、議会も含めて、もちろん議会、議会は議会制民主主義の中で、二元代表制の片やの代表でありますので。議会の先生方には、これからも引き続き丁寧に合意形成の生まれるように説明をしていきたいというふうには思っております。

以上、答えでございます。

【市民】

私中主の八夫の■■■■といます。私■■■■をしてから、所謂物理学を専門とする科学者です。その立場から、こないだ三上の集会のときに行って、少しコメントさせてもらったんですけど。あと全然、発言の機会がなかったんで。それで、今日仕事はあったんですけど、慌てて、少し遅れてきて、もう一度話せなかった分の発言をさせていただきます。

まず最初にですね、今、市長さんのハラスメントの問題を挙げられましたけど。大学はね、ものすごくそれは厳しいんですよ。指導がね。例えばですね、女の子、女子学生がいて、ちょっとふっくらしてきましたねと言ったら、これがハラスメントになるんですけども。それぐらい厳しく私らはね、指導されてるんで。それは市長さんも今後ね、ちゃんとパワハラ対策、実践していただければと思いますけども。よろしくをお願いします。

もう一つ、野洲市の職員の方。立派な色々なものを作って、いっぱい多いんですけど、「p」、「p37」とか書いてありますね。これはやめてください。これページ、「p.37」とかね、「p.」と書くんですね、普通は。「p.」。一生懸命中学校でね、先生が省略記号を教えるんですよ。野洲市の職員が「p」なんてことを書いてたらね、これは駄目ですよ。だから、今後ね、市の文書は必ず省略記号を書いてください。私は通訳ですから、論文は英語です。「p37」なんて書いたら、みな拒否されます。それぐらい厳しいんですよ。ただ、世界中です一つ雑誌で私が見つけたので「p」、「.」のついてないのがありました。だけど概ね、ついてるんですよ。常識ですから、それは実践してください。

私が申し上げたいのは、さっきの最後に説明あったようにですね、何か委員会が、市議会があって、統合というのはありましたね。それでなおさら私発言したいんですけども、政治的どうこうがありますね、これはまさにね、私は関わってましたので。これは元々言ってることなんです。というのは非常にね、苦々しい思いをしました。

というのは、■■■■です。地域貢献をやれと言われてですね、環境基本計画を野洲市、策定しましたよね、山仲市長の前に策定したんです。

それで野洲の駅前の計画を非常に見ながら、アイデアを出しながら、非常に討論してですね、やったのに、山仲市長さんがですね、じわじわじわじわとね、いろいろな集会を開かれましたけども、■■■■という建築の、私の同僚なんかもお願いされてですね、みんなあのブレインストーミングとかやりましたけど。最終的にね、結局、市長さんの言う結論の方に、全部行ってしまった。

私らは、本当に憤慨したんですね。だからこれは、政治的にやったというのは、まさにこれは当たってますよ。

だからそういうことを知る者としてね、今の市議会議員の方も、あんまりそういう事実は知られないと思う、わかりませんので。私はそれはね、そうではない、本当に当事者としてですね、苦々しい思いをしたというのがありますので、それは発言させていただきたいと思います。

それともう一つですね、市長さんの発案ですね、民間の活用で駅前をってというのがありましたよね。だけど、民間の、いわゆるそういう専門家はですね、金太郎飴的な発想しかしませんので。私はしょっちゅうヨーロッパ、アメリカに、年2回ぐらい国際会議で行ってましたんでよくわかるんですけど、駅前にね、そんなすごむような病院が建ってるような所はありません。都心の真ん中とかはね、そんなところならやむを得ませんけども。やっぱり、駅前は、野洲駅前は、野洲の顔ですよ。三上山が見えてね、非常に豊かなところで。そんな所にね、いろいろなものを立て続けに建てますとですね、他の駅から全然、特別感は起こらないですね。

だからJR野洲駅に来たときに、この駅は本当にもう緑が多くてですね、いろんなにぎわいがある、商業施設もありますけども、緑が多くて、それでカフェテラスもあるとか。そういうね、あるいは若い人たちが、そこでいろんなコンサートをやったり出来るようなね、そういうスペースがある。あるいは、その野洲市の、これはちょっと記憶としといて欲しいんですけど、住友のですね、初代と二代の頭取が出たのは、八夫から出てるんです。そんなこと、ほとんどの方、ご存じじゃありませんけども。非常に素晴らしいことやってるんですね。いわゆる別子銅山を開発して、別子銅山を開発して、それでもすごい新居浜市が、新居浜の漁村が栄えたんですけど。公害が出てですね、亜硫酸ガスという公害が出て、それで大変だったことになりましたけども。その7歳まで八夫で育った伊庭貞剛ですね、二代目の番頭として敢然に緑化して、復元されたんですね。それぐらい立派な業績があるんで、歴史文化記念館みたいなものをですね、駅前に造るとかいうふうにすると、お客さんも喜ぶことができます。

だから、民間のそういう専門家に、もう丸投げしないようにしてですね、市民の声をぜひ市長さんも聞いていただくようお願いして。

以上です。

【小池】

ありがとうございます。ご意見としてありがとうございました。

はい、どうぞ。

【市民】

皆さんご苦労様です。私は、公的医療機関並びに自治体病院の経営に従事してきた者でございます。比江の■■■と申します。

先の山仲市長の時代でございますけれども、多くの自治体病院が経営形態を見直す中で、直営と。当時も病院経営に従事しておりましたことから、大変興味深く注視してまいりました。

先ほど駅前、なぜ駅前だったのかっていう説明がございましたが、まさにその通りです。だって、従業員が三交代する機関が、公的医療機関ですから、公共交通、電車を使って通勤するわけがない。それから回復期リハをやろうとしている病院がね、そんなところに電車に乗ってくる患者いません

わ。そこらも全然おかしかったんですね。もう非常にナンセンスな状況だったんです。だから今までは一度も説明会に行ってもありませんでした。でも今回初めて来ました。

さておき、私は病院経営上の経験から、一点質問させていただきます。

現在165床という病床設定でございますね。これについては医師の数とか、病床の回転率あるいは平均在院日数の、あるいは、あるいは看護基準を考えながら、精査されて165床になったんじゃないかなと思うんですが。さっきのそのマーケットですね、管内の医療のマーケットで、つまり65歳以上の患者さんの数についてお示しがあったんですが、野洲市の国保データ、これはもう立派なデータを野洲市はお持ちのはずですから、そのデータをどのように活かしているのか。疾病構造からどういった入院比率を割り出して、そこから165床という数値が出たのか。それに現在、199床ですよ。165床で採算が取れるのか。その辺非常に疑問でございます。

そもそも病床数は、野洲市に対しての割り当てではありません。二次診療圏、つまり湖南四市に対しての割り当てでございますから、現病の床数199床を減らすとなれば、今後元に戻すことは極めて難しい。私の経験上、そんな感じがいたします。つまり、許可病床数と稼働病床数は別物です。今後の病院の将来構想を考えますと、現在の199床のままでよいのではと私は思うんですが。その辺、如何なものございませうか。165床の設定と、今後の動向についてちょっとお尋ねしたいと思います。

【小池】

ありがとうございました。

【駒井】

ありがとうございました。

経験に基づいた貴重なご指摘でございますので、しっかりと認識してまいりたいと思っております。まず病床数の設定につきましては、これから市議会の基本計画策定の予算が認められました暁には、コンサルタントに精緻な計算をお願いして、医業収益、医業収支の計算をして、見極めていきたいというふうに考えてはおります。で、今そういった状況の中で、あまり具体的に申し上げられる段階ではないんですが、私を含め4月以降の地域医療政策課のスタッフは、仰る199床から165床に減らした計画素案を持っていることについて、少し再考が必要なのではないかとというふうに、正直、考えております。

この165床という数字が算定された根拠について調べましたところ、現在の野洲病院の急性期病床棟110床でございますが、その110床の稼働率が70%いかないぐらいだったんですね、コロナ前で。だから、引き算の30数%のところが無駄ではないかということで、ちょうど30床ぐらい、これだけのベッドは、今空いてるんだからいらないでしょ、という発想で減じたというふうに認識してございます。私これは、おっしゃるように、大変勿体ないやり方ではないかというふうに考えてございます。病床、ベッドはまさに地域の財産でございます。一度手放したら二度と戻ってこないというふ

うに私は承知してございます。だから30のベッドを休ませておくのがよいのか、あるいは他の機能のベッドとして、市民が求められる他の機能のベッドに転換して活用していくのがよいのか、この辺につきましては次の段階、申し上げた通り基本計画修正のための予算を議会にお認め頂いたら次の段階でしっかりと市民的議論を入れて、あるいは専門家のレビューを入れて、理論確立させていただきたいという考えでございます。

貴重なご指摘、ありがとうございました。

【市民】

北比江の■■■■でございます。よろしく申し上げます。通り一遍の説明。台本通りの説明が終わりました。でも議会が承認してないとはなんちゅうこっちゃ。議会が承認してないものを、こうやって説明されて、また議会が通らなかつたらどうするんですか。非常に腹立たしい。

やっぱり、市の提案を受けて、議会が承認して、初めて成立する問題であって、その議会の承認も得ずに、説明会をします。聞いている市民はそうかいなと思って聞く、議会で否決される。あとどうすんねん。非常に、私、今、腹立たしい気分しております。

ほんまに、このような病院ができるのか。こんな説明、当たり前のコッチャ。出来るんなら、当たり前。出来るか出来ないかわからないっていうんでは、話にならん。

病院の問題については、市長就任以来、市の提案をことごとく否決されてきておる。一つ例を挙げると、昨年、病院についての予算計上された。それ職員も、それに注意してきたんです。それをひっくり返された。医師会の方でも、医師会の理事会でも、市長は、野洲のBブロックは絶対変えませんと、断言しておられた。それが覆つてると。なんたるこっちゃ、こんなことで信用できるか、市政を。職員は皆、どう思うてるねん。市長にそうせいと言われるからしてるんちゃうんか。

まあ、あの、言いたいこと言いましたけど。市長の提案については、もう否定される可能性もあるということです。

ちょっと私の腹立ちを覚えたんで、意見とさせていただきます。

そしてもう一点。市長の最初の挨拶にあったパワハラの問題について。私は中主の学区の〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇として、現在も■■■■として活動しております。その活動のトップは、市長ですよ。■■■■、いろいろの人権に対する審議会とか協議会あります。そのトップは、すべて市長。そのトップがパワハラをする。なんたるこっちゃ。それはやっぱり。

今日、市の〇〇〇〇〇〇〇〇〇の運営委員会が行われてるんです。その中でも取り上げられていると思います。この人権問題については、■■■■が動かねばどこが動くのか。■■■■が動いてますよね、あれ。だから、人権についてもね、やっぱり、頭ごなしに言うんじゃないで、理解をしてもらえるような説明。あるいは言動で、トップらしい状況を見せていただきたい。

市長もこの間から選挙で忙しいんやろうと思います。私も■■■■の党员として、■■■■とお会いとか、色々なところへ出向いておりますけど。市長とは、顔を合わせてます。けど、声ひとつかけていただけない。これが野洲の市長ですわ。

また、時間がございませんのでこれくらいにしておきますけど、言いたいことはいっぱいあります。そういうことでね、やっぱり早う議会の承認を得て、市民の理解を得て、それから取り組んでいただきたい。そない思います。以上です。

【小池】

ご意見としてありがとうございます。
それでは

【市民】

はい、同じく北比江の■■■■と申します。
同じく中主学区の■■■■の■■■■をやっております。ずっとやらせてもらっております。
ただ、先ほどの市長の挨拶の中で、あちこち、お行きになるとこで、今のパワハラ問題は、どう
いうのか、謝罪しておりますということですけど、それは公的なことでやってはんのはええけども、
私は市長に聞きたい。そのパワハラを受けた方たちお二人が、本当にその謝罪で留意されてるのか
されてないのか。そこが一番肝心なことと違いますか。その方たちが謝っていただいて、溜飲を下
げはったか下げておられないのか、そういうこと一言もこの場でも出てませんやん。それはおかし
いですよ、■■■■さんが言うた通り、人権を預かる一番の、筆頭の、野洲市内では本部長は市長です。
それを、ざっと、皆さん通り過ごしたら駄目だと思います。

そして私の、もう一つ私の私的なことを喋らせてもらいます。

私もこの4月の5日が誕生日でしたので。図らずも、後期高齢者の仲間入りさせていただきました。
はい。もう私も、いつ明日、どんなことで病院の世話にならんらんかわからん。それで私の
家内が以前に野洲の掛かり付けの市内の診療所で見えていただいたら、それで相談しよって、レント
ゲンやら撮っていただいて、いろんなことをしていただいた結果、これは腰のことは日野記念病院
行きなさいという紹介状を頂いて、行きました。私も仕事をね、職場もお休みいただいて、行って
おります。

そして、そこでまたかなりの問診の結果、ひょっとしたら、股関節も悪いのと違うかという話に
なって、レントゲン撮ってもらいました。そしたらやっぱり股関節にちょっと具合が悪い所もある。
これは手術せなあきまへんど。関節は、旧の成人病センター、今の県立の総合病院、あそこへ行
きなさい。そこへまた移されて、そして、手術を受けました、股関節の。

それで、股関節の手術を受けて、それから、こっからが問題ですな。私、本当にね。家内とそ
んなにそこら連れ添って歩いたこと、ほぼなかったんです。ところが、その股関節の手術を受けた
その結果、その担当の医師から何を言われたか言うたら、絶対こけさせたら駄目ですよ。大変な
ことになりますということで、買い物に行くのから何もかも、わし、付いて回らなしょうがないよ
うになったんや。

ほしたら、世間の皆は、お前ら歳いってから、なんぼ仲良うしてんねん。冷やかされておりますわ。知った人にお出会いするとね、お前ら仲良ええなど。仲良ええのとちゃうねんといいたいけども、もう言うてる暇ないし。今日、今、そういう生活送っとりまんねんけどね。

総合的な病院を、いち早く、私はもう、家内もそうです。もう団塊の世代の我々は、否が応でも病院、明日掛からなならんかもわからんねん。1日も早よ造れと。何をしてんねんと。ええかげんにしとけよって、私は言いたいです。本当に。

ほんでもう、私や家内や、もう亡くなって、逝ってしもうてから建つような病院なら要りまへんと。これは私の、本当の本音ですわ。違いますか、皆さん。本当に考えてくださいよ、みんな。本当に切羽詰まってまんねん。いるかいらないかいうこと、切羽詰まっています。

まだこれから、まだ議会に承認するせん。本当に市長にお伺いしますが、議会から承認を確実にいただけて、令和8年ですか、それは絶対周到にできますんやんね。これは約束してください。そうでなかったら、だらだらだらだら、またあっち、またこっち、何言うてんねん。市自体かてそうや、そりゃおかしいよ。我々もそれなりに毎年、やっぱり確定申告も行って、税金を納めたやんか、皆してまんねんや。

私、言葉、ちょっと大きくなっててもわかりませんが、一市民の単純な気持ちですよ。これをしっかり、ま、ね、以前には新聞やチラシに、なんやいろんな文言でね、私の私案でしたて、ありますわな。言うておられますわな。書いてますわな。ワタクシの案や、私案や。私は、え、つぶ館やこし館や、甘いこと言うてもうてられまへんねん。はっきり言うて。やるならやる、しっかりといつ何年には、必ず開業するという信念を持ってやって欲しい。それだけです。

【市長】

ありがとうございます。

信念を持って、今この提案を皆さんにさせていただいております。

本当に苦しい、先ほども当初申し上げましたけど、苦しい苦しいこの1年7ヶ月、就任してから約1年7ヶ月8ヶ月になりますですけども、本当に苦しかったですけども、もう、この案が一番、野洲市にとっていい案だというふうに思っております。

だから、この案を本当に議員の皆さんに認めていただいて、1日も早く、1日も早くこの病院を整理していかなくてはならないというふうに思っております。

ぜひとも、ここにご参集の皆さんには、ご協力をお願いしたいと思います。

どうぞよろしく願いいたします。

だから、今もう、あの、反論するわけじゃないですけど、だからここにも議員の先生方、何人かお見えですので、ぜひとも疑問に思われることはどしどし言っていただいて、そして解決して、意思疎通をして、前に進めていかなければならないというふうに思っております。

【小池】

その他ご意見ご質問、すいません。沢山おられますんで、順番に1人ずつ。

【市民】

北野学区、駅前北野の■■■■です。市長これ1年7ヶ月ですかね、当選なさってから。それから市長が、今の、元の、病院の現地半額ということで当選なされました。それから1年8ヶ月弱になりますけど、この間何をやってこられたのか。

市民は、現野洲市の病院を半額でということで投票なさった方がほとんどなんです。2,000何票差で当選なさったわけです。それを期待して、我々が見ておった中で、現地の病院は駄目だと。Aブロックはもう頭から駄目ですということで、当選なさったんです。それはそれで結構です。

あとはBブロック、Bブロックの細長い、JAの横で、私は先ほど■■■■さんが言わはったように、やりますということで、提案なさったわけですよ。

それをまた覆してですね、総合体育館に持っていくとは、どういうことなのか。あちこち熟考してて、何カ月熟考するんですか。4ヶ月熟考している。

これ、職員さんも大変やと思いますわ。

いろんな考えで、どういう案を考えたら市長に納得していただけるのか。よっぽど考えて、頭痛いと思いますけど。できた考えがこれやと思いますわ。

だから今後ですね、市長があと2年ちょっとかな。あとの間に病院が本当にできるかどうか、これはこれは疑問ですわ、はっきり言うたら。駅から5分。交通は、確かに5分で行けるやろ。そんな問題やないんですよ。我々高齢者で、もうさっき■■■■さん言ったように、老年で、俺も後期高齢者になりました。そこへ持って行って、ね、車の運転の免許を返さなあかん人間が、果たしてそこへ行けるかどうか。簡単に利便性を考えたら、バス降りて、中主から野洲行って、野洲からまたバスに乗って。そんなことが出来ますかいな、これ。考えたらおかしいんちゃうんか。

やっぱり利便性を、お医者さんも言うてますやんか、はっきり言うたら。市長のお話の中で、駅前が一番最適やと。Aはあかんかったら、B やったら B でもいいんですやん。それで私は一生懸命やったけど、それに応えようと思ったんですけど、これが今現在またこっち来て。こっちあかんかったら、またさざなみの方に行くんですか。それではちょっと、駄目だと思いますよ。一つのポリシーを持ってやってもらわないと。あなたの後の2年数ヶ月の時に、出来るかどうか、病院は。それが、市民としては心配しております。

よろしく願います。

【市長】

一番最初に説明させていただいた通りでございます。

現地建て替えから、Bブロックにした理由。それはお話をさせていただきただけでは、なかなかわかっていただけないということで、お手元に資料を、コメントを配らせていただいておりますので。またお時間かかりますので、またそれを読み返していただけたらありがたい。

本当に、現地建て替え半額でっていうことが実現できなかったことに関しては、お詫び申し上げます。しかし、立ち止まることもなく、やはり病院整備というものを、真摯に受け止めて、前に進めてきた結果でございます。Bブロックにしたのも、それもそこに理由が書いてございます。当時の野洲の財政状況とか、いろんなものを鑑みて、なかなか駅前から場所を移すことができなかった。

で、駅前Bブロックで整備ができるだろうという予測のもとで、整備計画を入ったんですけども、結果が思っていた以上に精度が低かったということが、先ず結果、でございます。

やはり持続をしていく、持続していくような病院というものを造っていかないかんということで、現在の場所に、ここが一番最適であろうという判断をさせていただいたというわけでございます。従前は、まだその未完成のままの中でやらせていただいておりますので、本当に、期待をしていただいた方には申し訳ないと思うんですけども。

議会のということを言われますけど、Bブロックも先ほども説明しましたですけども、Bブロックで病院を整備することに反対される議員が圧倒的に多かったということが、一つのこの熟考の中の結果であるということも、先ほども申し上げた通りでございますので、それを繰り返し申し上げることはございませんが、本当にこの2年数ヶ月、あと2年数ヶ月でこの病院が建つのか、いうご質問でございますが、これは、開院は無理です。ここにも書いておりますように。

しかし、市民の皆さんに見える形で、こういう病院が建って、うまくいけば起工式になるとできるような運びにしていきたいなというふうに思っております。

それには皆さんのご支援、ご協力を賜りたいと思います。

よろしく願いいたします。

【小池】

ちょっとお待ちくださいね。

今、このような時間なっていますが、9時終了で想定をしております。今、■■■さんと■■■さんから手挙げていただいておりますけれども、まず、まだ一度も質問されてない方で、おられましたら先に、当てさせていただこうかなと思っておりますが、よろしいですか。

【市民】

すいません、安治の■■■です。

私、12年ほど前まで会社勤めしております、今は家の仕事で農業してるんですけど。12年前まで、会社勤めしていると、この世代になると私等の世代はね、やっぱり病院以外の、会社に近い病院なり歯医者なり散髪屋、まして行きつけの守山で、服を買うのも野洲市内では一切買ってませんでした。あの会社の途中の、行きやすいところに寄っておりました。

ただ、家の仕事をしていると、市内、いろんな会にも顔出すようになりまして、私の顔見たら、ああ、いつも来とるなと思われる方もいると思うんですけども。

ただ、いろんな、何年か前に住民投票やったと思うんですけど。夕方のニュース番組で特集されてましてね、やっぱり熱くなってるのは、言い方悪いですけど、高齢者ばかりなんです。

で、インタビューされてる方で、やっぱり高齢者はどっちか、反対とか賛成の意見があるんですけど、若者を聞くと、私ら野洲病院行かへんし、全然関係ないし。私もその派でした。全然、野洲病院行かへんし。健診も行かへんし、悪くなくても、全然行かへんし。骨折したり、どっか交通事故を起こすとやっぱり行かなあかんかもわかりんですけど、それまでには全然、野洲病院どっちでもええしと思うてました。今でも思ってます。

ただ、こういうふうにお金をかけて前に進めてるんであれば、最善の方向で、こういう前に進めていって、早く決めて。うちの親もまだ生存しておりますんで。だから、ちゃんとした方向で、こういう形で前もって進めていただければと思います。

ただ私は、全然、野洲病院、一切、行っておりません。これから行く世代になるかもわかりませんが、はい。

【小池】

はい、ご意見としていただきます。

他よろしいですか。では、■■■■さん。

【市民】

何回もすいません。単刀直入にお聞きします。私、京都新聞をとってるんですね。市長のパワハラ■■■■の件で、認定、第三者委員会が認定された認定書を副市長が受け取られておったと。これ、どういうふうに対処するんか、一言だけ、お願いします。

【副市長】

副市長の佐野でございます。

今おっしゃっていただいたことは、少し本件とは関係ないんですけども、お答えさせていただきますと、本来この諮問というのは、市長から委員会に諮問したものでございますけれども、市長が当事者でございますので、代理で私が答申を授受をさせていただく、というような手続きになった次第でございます。

【市民】

それをどういうふうに対処していくのかと。パワーハラスメントであると、認められたんやね。

【副市長】

ちょっとそれは、今ここで本来お答えする話ではないかと思えますけど。どうさせていただきますでしょう。

【市民】

まあ、後からでもええわ。…私も長年、人権の活動をやってきましたので、このまま有耶無耶にするのであれば…。

【小池】

はい、ありがとうございます。ご意見として、受け取らせていただきます。

【市民】

すいません、少し時間をいただきたいと思えます。

今まで病院が、長年こういう状態で推移してきたということは、栢木さんが、前市長時代に会派で活躍しておられる、議員として活躍しておられたときに、もうその当時からもう野洲駅前には病院はいらないということをはっきりおっしゃってたんですね。何故そういうことをおっしゃってるのかということは、要は駅前の一等地、Aブロックは民間に活用してもらうんだと。民間で、最初の頃は大型商業施設と、確か言っておられました。その次はランドマークという言葉が出てきます。最近では複合商業施設と。

私も、市長へのメールで何回かお尋ねしてるんですけども、複合商業施設の実態は、市民に全く見えない。マンションですかって聞いたら、これは今後民間が提案したものは避けて通れませんというようなことをおっしゃってるんで。私はマンションありきかなというふうに理解してるんですけども。Bも退いたということは、AもBも欲しいという方がおられるんじゃないかなと。私はこれ推測ですわ、あくまで。

いや、この場に及んで、前回も言いましたけども、文化スポーツのゾーンとなっております。Dブロックの文化ホールをつぶして、中主のさぎなみさんに一本化して、あこも開けると。これ、もう文化もなくなるんですね。病院は、首の皮一枚で繋がってますけど、文化芸術に触れる機会が、市民は失うわけです。あこをどういうふうに考えたのかなと、これも推測ですけども、あそこも売ってしまうのかなあと。これは、市民が、ちょっと着いていけないですよ。

先ほどどなたがおっしゃいましたけども、野洲駅降りたら、野洲のシンボルはどういうものがあるんだというね、そういうモニュメントでも何でもいいですから作ってもらって、なるほど、野洲駅前はスカッとしてるな、守山みたいにマンション乱立してちょっとよくないやないかと。栗東駅もそうですわね、南草津もそうですよ。

今はもう時代変わってきてるのに、なんでそんなことを真似しようとしたのか。この辺の根拠がよくわからない。その辺を、ちょっとはっきり何か目に映るようにしてもらわないと、病院がどこでいいのかどうかという議論はできません。

以上です。

【赤坂】

はい、すいません。駅前の整備の関係でお問い合わせいただきましたので、私の方からお答えさせていただきます。

かねてから議会の方に説明させていただきます駅前整備、そのものです。そのものにつきましては、平成24年から27年かけまして、いくつかの機能を駅前で整備しますということで計画の方を策定させていただきました。その中に、機能として病院がございます。その病院の機能を、ただいま市の方からの提案におきますと、先ほどから説明がありましたプール、温水プール跡地に、場所を提案するという提案を現在させていただいて。この提案につきましても、先ほど担当言いましたけども、今議会、その分の、基本計画の修正ということで、この提案のいろんな根拠とか、そういうようなことをさせていただく予算が、今現在、議会で否決になる。この議会で、次のそのタイミングでそれを説明させていただいて、お認めいただいた折にはですね、病院について、プール跡地の、このような理由でこういうような根拠を持って、ということでした。市が根拠とともに、プール跡地で整備する説明をさせていただく。それによって、駅前の病院がプール跡地ということで、なった折には、今、先ほど私、当初言いましたその計画から機能、病院がなくなります。その病院というのはなくなった後、元々の計画自体を見直す必要がございますので。その見直しをした段階で、先ほどありました文化スポーツ機能ということで、計画にあたっておりますやつ、その機能につきましてもその見直しの中で、市民さんのご意見をいただく形で検討の方をさせていただくと。

そっちの方を先にとおっしゃるんですが、元々、当初の計画から病院がそこにある、あるいは、この提案のようになる、こちらの方が決まらないと、その病院の方の検討の方が進められない。議会の方でも、そのようなご意見をいただいておりますので。まずは病院の、こちらの提案、提案を今後も引き続き丁寧に説明をさせていただいて、そこでお認めいただいた折に、その結果に応じて、駅前の方の見直しをするという手順で考えております。

以上でございます。

【市民】

祇王の■■■■と云います。

私は前市長の時から駅前の病院に反対でした。なぜかという、今、駅前に建てても、また30数年後、また耐用年数が来ますねん。そしたら、どこに建てまねん。それが反対の原因です。もし建てられる場合、違うところにまたいくんやったら、ただ先延ばしで。孫とかひ孫に、この問題をそのまま任すだけのことです。

今現在そんなことを、無駄なことをしなくても、いい土地があって、体育館の横のプール跡地にいい土地がある。その30数年後ですか、耐用年数が30数年後ですね。あそこなら、あとまたその場に建て替えられるようなことが出来る可能性がありますよ。駅前ではその可能性はないと思うんで

す。こんどはどこへ建てるんですか。駅の、駅舎の上ですか。もうそこしか残ってませんやろ。あと、もう狭い土地しかないわけですよ。

駅前は、もう少しにぎわいをして。今度、高専が来るかもわかりません。来そうな感じがしてるんですけども。そんなことで、いろんな発展する要素があると思うんです。ですから、是非とも、今この話を進めていただきたいというふうに考えています。

で、議会の方も、もう少し、本当に市民のことを思っておられるのか、私はその辺が不思議でかありません。何故、これ、反対しはるんやろか。何故これから前向きに市民とともに、市長とともにやっていかないのだろうか。その辺、不思議でかありません。

今後、話を前に、必ず前に進めていただきたいと、そのように考えております。

以上でございます。

【小池】

それではお時間となりました。ありがとうございました。

本日いただきましたご意見につきましては、今後、野洲市民病院整備を進めるにあたり参考とさせていただきます、よりよいものとなるよう、取り組んでまいりたいと思います。

皆さんそれでは最後に閉会にあたりまして、副市長よりご挨拶申し上げます。

【副市長】

皆さんお疲れ様でした。

今回、賛成の意見、また反対の意見、色々な様々なご意見をいただきました。いずれにしましても、どちらの意見もですね、病院をよりよい病院とする、そういった思いでのご発言かと思しますので、しっかりと受けとめさせていただいて検討させていただきたいと思います。

本日はありがとうございました。